

令和7年度 学校評価表

10 須坂高等学校

		成果と課題	評価	改善策・向上策
学校目標	日本国憲法、教育基本法にもとづいて次のような人間形成をめざす。 1. 民主的・自治的で平和を愛する人間。			
	2. 真理を愛し、社会と自然の諸事情に対し、科学的認識にもとづいて正しい判断と批判ができる人間。			
	3. 健康で豊かな情操とたくましい行動にあふれ、社会を明るく豊かにする努力を惜しまない人間。			
	4. 現代社会における労働の意義を正しく理解し、広く、創造的実践を通して、社会の発展と向上に寄与できる人間。			
中長期的目標	I 自律的な生活習慣の確立を図る。			
	II 学習支援の環境を整備する。			
	III 生徒の能力の伸長と学力の向上を図り、希望進路の実現に向けた指導をする。			
	IV 全教職員の連携がより円滑に機能するような学校運営を行う。			
今年度の重点目標	i 信州グローバルハイスクール実践校として、SAH(Super Academic High-school=大学のないまちの大学のような高校)を目指し、地域にとって「知と創造の拠点」となるべく一丸となって諸活動を行う。			
	ii 豊かな知識・表現力、創造的な思考力・課題解決能力、主体性を身につけた生徒の育成を目指す。			
	iii 自力で人生の扉を拓いていくことのできるたくましい若者の育成を目指す。			
	iv 職員・生徒・保護者が相互に連絡・連携をとり、個々の生徒一人ひとりのニーズに応じた支援を目指す。			
	v 相互の多様性を受け入れ、よりよい社会作りを目指して新しい価値観を見いだそうと努力できる市民を育成する。自他の生命と尊厳を守り、いじめのない人権感覚あふれる学校作りを目指す。			